

## 石川県立山中漆器産業技術センターの平成30年度管理状況

|                     |   |
|---------------------|---|
| 施設所管課               | 商工労働部経営支援課  |
| 施設管理者               | (公財) 山中漆器産業技術センター 理事長 徳田 博  |
| 指定期間                | 平成30年4月1日～平成35年3月31日  |
| 中期経営目標<br>(H30～H34) | ① 基礎コースの入学志願倍率は、引き続き1.2倍以上を維持します。<br>② 専門コースの定員充足率は、80%以上を維持することを目指します。<br>③ 利用者アンケートによる満足度において、利用者サービス、施設の維持・管理とも、95%以上を維持します。<br>④ レンタル工房入居率100%を目指します。 |

### 1 中期経営目標達成に向けたサービス向上・利用促進等の取組

#### (1) 実績

| 項 目               | 実施内容  |
|-------------------|---|
| ① サービス向上・<br>利用促進 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修カリキュラムに「職人養成トレーニング」を追加し、挽物轆轤技術向上のためのプログラムの充実を図った。</li> <li>・センター卒業生に対し、卒業後就業に向けた実績を積むための施設として「レンタル工房」の供用を開始した。</li> <li>・一般客を対象に、木地挽ろくろ体験事業を開始。木地挽きろくろ体験や施設見学ガイドを実施。</li> <li>・土日祝日開館を開始し、施設開放事業を行い開放機器等の利便性向上に努めた。</li> <li>・山中温泉の宿泊客を対象にPR重視のアンケート調査を行い、山中漆器についての理解向上と、産地内における漆器販売の参考となるよう努めた。</li> <li>・2019年開催予定のイベント「around」（主催：山中漆器連合協同組合）の、体験教室イベントに関する計画作成について協力した。</li> </ul>  |
| ② 広報活動            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修生の募集について、HPの充実を図るとともに、Facebook等のSNSで研修の様子等を定期的に発信したほか、MROラジオやメールマガジン、新聞広告「広報いしかわ」を活用し広く周知した。特にacebookにおいては、更新頻度を大幅に上げた。</li> <li>・従来から行ってきた地元高校生向けの体験会を、28年度より「オープンキャンパス」として対象を広げて実施。H30年度は県内外から40名の参加を得た。（参加者のうち2名が31年度の入学試験を受験し、うち1名が入学した。）</li> <li>・専門コースへの進学率向上を目的に、進学のリポートや専門コース卒業後の就職状況を説明する進学説明会を29年度に引き続き開催したほか、卒業後の就職支援策として、産地内の状況把握や関係作りのための工房見学を複数回行った。</li> <li>・加賀市、金沢市及び県外では大阪事務所において卒業作品展を行い、同センターのPRや山中漆器の魅力発信を行った。</li> <li>・土日祝日も開館し、一般客に対し木地挽きろくろ体験や施設見学のガイドを行い、伝統的山中漆器の理解向上に努めた。</li> <li>・近隣の小中学校を対象とした轆轤や蒔絵の体験教室を増やし、伝統的山中漆器への理解向上と次世代後継者のための種まきに努めた。</li> <li>・挽物轆轤や蒔絵の体験を行う体験教室を開催し、金沢大学留学生、外国教育機関等、幅広い年齢や国籍の方の参加を得た。</li> </ul> |

#### (2) 平成31年度における取組内容の見直し等

| 実施内容  |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・漆芸教室の早期開催を図る。</li> <li>・山中漆器連合協同組合主催イベント「around」に向け、ギャラリースペースの拡充を図る。</li> </ul> |

## 2 中期経営目標の進捗状況

| 測定指標                             | H26～28<br>平均<br>(基準値) | H29年度 | H30年度 | 前年度比    | 基準値比    | H34年度<br>(目標値) |  |
|----------------------------------|-----------------------|-------|-------|---------|---------|----------------|--|
| (1) 基礎コース入学<br>志願倍率(倍)<br>(定員5名) | 1.3                   | 1.6   | 2.8   | 175.0%  | 215.4%  | 1.2            |  |
| (2) 専門コース定員<br>充足率(%)            | 76.7                  | 90.0  | 80.0  | -10.0%  | 3.30%   | 80.0           |  |
| (3) 利用者アンケート<br>における満足度          |                       |       |       |         |         |                |  |
| 利用者サービス(%)                       | 99.3                  | 100.0 | 99.1  | -0.90%  | -0.20%  |                |  |
| 施設の維持管理(%)                       | 98.8                  | 100.0 | 99.1  | -0.90%  | 0.30%   |                |  |
| (4) レンタル工房入居率<br>(%)             | —                     | —     | 100.0 | #VALUE! | #VALUE! | 100.0          |  |

※基準値は中期経営目標における基準値

### <利用者数、貸館稼働率など利用指標に係る増減理由>

| 指標                    | 対前年度増減理由   | 対基準値増減理由 |
|-----------------------|--|----------|
| 基礎コース入学<br>志願倍率       | 地元の高校や短大、大学の進路指導担当者に対して、夏休み前から募集活動を行ったり、当センターの夏季休業期間に轆轤挽きや蒔絵の体験を行うオープンキャンパスを実施するなど、積極的な募集活動を継続的に行った結果、志願者の大幅な増加につながった。 | 同左       |
| 専門コース定員<br>充足率        | 研修生へ進学にあたっての個別相談をきめ細かに行うとともに、29年度に引き続き、進学説明会を開催するなど、専門コースの魅力を伝えていったが、研修生各個人の様々な理由に伴い、進学率が減少した。                         | 同左       |
| 利用者アンケート<br>(利用者サービス) | 漆芸教室の開始時期が遅くなったことにより、実施回数が大幅に減少した結果、満足度が低くなった。   | 同左       |
| レンタル工房入居率             | 30年度から運用開始   | 同左       |

### <利用者アンケート結果>

・ろくろ研修事業(平成31年3月実施 有効回答数14名)

| 項目         | 回答    |       |      |      |
|------------|-------|-------|------|------|
|            | 良い    | 概ね良い  | やや悪い | 悪い   |
| 利用者サービス(%) | 85.7% | 14.3% | 0.0% | 0.0% |
| 施設の維持管理(%) | 57.1% | 42.9% | 0.0% | 0.0% |

・施設開放事業（平成30年度随時実施 有効回答数22名）

| 項目         | 回答    |      |      |      |
|------------|-------|------|------|------|
|            | 良い    | 概ね良い | やや悪い | 悪い   |
| 利用者サービス(%) | 95.5% | 4.5% | 0.0% | 0.0% |
| 施設の維持管理(%) | 95.5% | 4.5% | 0.0% | 0.0% |

・漆芸教室事業（平成31年3月実施 有効回答数12名）

| 項目         | 回答    |       |      |      |
|------------|-------|-------|------|------|
|            | 良い    | 概ね良い  | やや悪い | 悪い   |
| 利用者サービス(%) | 91.7% | 0.0%  | 8.3% | 0.0% |
| 施設の維持管理(%) | 63.6% | 27.3% | 9.1% | 0.0% |

・木地挽きろくろ体験事業（平成31年随時実施 有効回答数63名）

| 項目         | 回答    |      |      |     |
|------------|-------|------|------|-----|
|            | 良い    | 概ね良い | やや悪い | 悪い  |
| 利用者サービス(%) | 96.8  | 3.2  | 0.0  | 0.0 |
| 施設の維持管理(%) | 100.0 | 0.0  | 0.0  | 0.0 |

### 3 施設等の維持管理

| 項目         | 実施内容   |
|------------|--|
| (1) 清掃     | 清掃業者に外部委託しており、毎週1回、事務所と轆轤室を除く全ての部屋を清掃している。                                     |
| (2) 設備保守点検 | 空調設備管理、エレベーター保守管理、消防設備管理、電気設備管理、地下オイルタンク点検を全て業者に外部委託しており、それぞれ適切な時期に保守点検を行っている。 |
| (3) 植栽維持管理 | 植栽業者に外部委託しており、草刈りや剪定、雪吊り等の対策を取っている。  |
| (4) 警備     | 民間警備保障会社に外部委託しており、施設内に防犯装置を備えている。  |
| (5) 小規模修繕  | 設備等が故障した場合は、研修等に支障が生じないように速やかに修繕を行っており、研修生や利用者の利便性、安全確保に努めている。                 |

### 4 管理運営体制

| 項目                     | 実施内容  |
|------------------------|---|
| (1) 緊急時の対応・安全管理などの危機管理 | 緊急連絡網を策定し、非常時に備えた危機管理体制を整えている。また、年1回避難訓練も実施している。        |
| (2) 個人情報の管理状況          | 個人情報の保護に関する法律等関係法令並びに基本協定書に定める「個人情報の取扱いに係る特記事項」を遵守している。 |

## 5 収支状況

### (1) 使用許可等の状況

(単位：件)

| 項目     | 許可件数 | 不許可件数 | 不許可理由 |
|--------|------|-------|-------|
| 施設利用   | 7    |       |       |
| 開放機器使用 | 171  |       |       |
| 合計     | 178  | 0     |       |

### (2) 使用料の収入実績（利用料金の収入及び減免の状況）

(単位：千円)

| 項目     | 収入額 | 減免額 | 減免理由                               |
|--------|-----|-----|------------------------------------|
| 施設使用   | 263 | 14  | 4件：山中漆器連合協同組合3件・石川県産業創出支援機構1件利用のため |
| 開放機器使用 | 97  |     |                                    |
| 合計     | 360 | 14  |                                    |

### (3) 収支決算

(単位：千円)

| 収入            |        | 支出      |        |
|---------------|--------|---------|--------|
| 指定管理料         | 40,165 | 人件費     | 16,222 |
| 入学手数料等徴収業務委託料 | 142    | 委託費     | 2,519  |
| 授業料収入         | 3,545  | 光熱水費    | 2,307  |
| 使用料収入         | 360    | 修繕費     | 610    |
|               |        | その他管理費  | 3,333  |
|               |        | 轆轤研修事業費 | 19,221 |
| 合計 ①          | 44,212 | 合計 ②    | 44,212 |
| 収支差額 ①－②      | 0      |         |        |

## 6 利用者からの意見、苦情、要望

| 年月       | 内容   | 対応                     |
|----------|--|------------------------|
| 平成30年12月 | うるし座に展示している足踏み轆轤をギャラリーに展示させてほしい。             | 平成31年度4月に移設して現在展示している。 |
| 平成31年3月  | ろくろ体験300円でやるのは民業圧迫。卒業生の参入障壁になっている。宣伝は控えてほしい。 | 検討すると返答。               |
| 平成31年3月  | aroundに向けてギャラリーの展示を越前漆器を参考にさらに充実してほしい。       | できる範囲で対応したいと返答。        |

## 7 事故、故障等

| 年 月     | 内 容        | 対 応                  |
|---------|------------|----------------------|
| 平成30年4月 | 轆轤2台から異音。  | 予備の中古轆轤2台を修理して、交換した。 |
| 平成31年2月 | 冷温水発生器が故障。 | 修理した。                |
| 平成31年3月 | 轆轤1台から油漏れ。 | 予備の中古轆轤を修理して、交換した。   |

## 8 その他報告事項など

|  |
|--|
|  |
|--|

## 9 評価結果

| 評価項目                             | 評価 | 所見（工夫・改善点）   |
|----------------------------------|----|--|
| (1) 中期経営目標の達成に向けたサービス向上・利用促進等の取組 | B  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 漆器に関する様々なスペシャリストを講師として招き、研修生に対して高いレベルの研修を行っている。特に所長（人間国宝）である川北良造氏自ら、所定講義回数以上の技術指導を積極的に実施している。</li> <li>・ 児童生徒や一般を対象とした見学や体験教室等を積極的に実施し、山中漆器の普及啓発に努めている。</li> <li>・ 組合員が自分の専門以外の漆に関する技術を習得する漆芸教室を、産地からの要望に応じた見直しを加えながら開催し、資質向上に努めている。</li> <li>・ 入学案内書は県内の高校へ持参するとともに、研修内容について詳細な説明を行っている。また、地元高校生を中心に事前体験研修の機会を設けているほか、オープンキャンパスを実施し、入学志願者の増に努めている。</li> <li>・ 入学に関する問い合わせを受けた場合には、必ず事前に同センター内で体験を行うよう依頼しており、「漆器づくり」の難しさ、厳しさを知った上で、それでも志望する研修生のみを受け入れる体制を構築している。</li> <li>・ 地元の漆器事業者が施設・開放機器をより利用しやすいように、センターを土日祝日も開館するとともに、開館開放時間を週1回（火曜）、午後5時から午後9時に延長している。</li> <li>・ 研修生や施設利用者を対象としたアンケートを実施し、サービスの維持向上等に活用している。</li> </ul> |
| (2) 施設等の維持管理                     | B  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 挽物轆轤研修事業を円滑に進めるために、設備の保守点検を定期的に行うなど、適切な維持管理に努めている。</li> <li>・ 設備等が故障した場合は、研修等に支障が生じないように速やかに修繕を行っている。</li> <li>・ 照明器具のLED化を図り、環境に配慮した管理に努めている。</li> </ul>   |
| (3) 管理運営体制                       | B  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 緊急連絡網を策定し、非常時に備えた危機管理体制を整えている。</li> <li>・ ノウハウをもった職員を適切に配置することで、漆器業者の相談や、見学・体験者への対応といった点を含め、適切な管理運営を行っている。</li> <li>・ 研修生、相談者の個人情報保護に留意している。</li> </ul>   |
| 総合評価                             | B  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 山中漆器産業の育成及び支援を行うことを目的として、適切な管理運営を行っているほか、山中漆器に関心のある県民に対しての普及啓発事業も積極的に行っている。</li> </ul>  |

### ○ 評価基準

- A（優）：仕様書等に定める水準を大いに上回っており、その結果、優れた実績をあげている
- B（良）：仕様書等に定める水準を上回っている
- C（可）：概ね仕様書等に定める水準どおり実施されている
- D（不可）：仕様書等に定める水準を下回っており、改善を要する部分がある

### ○ 総合評価

- A（優）：優れた管理運営がなされており、かつ、十分な実績をあげている
- B（良）：優れた管理運営がなされている
- C（可）：適正な管理運営がなされている
- D（不可）：改善が必要である

## 10 助言・指摘事項

|  |
|--|
|  |
|--|